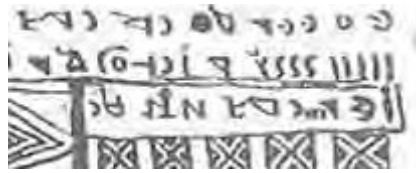


at か dat

21 ページ左の挿絵のテーマです。



HN は間違いなく役職名か人名であり、
今までの知識で at は at と読まれそうなので、このテーマは

「 HN さんの at での HN さん。」

と考えられそうです。
しかしながらラテン語の at は場所を示すようではなく、「しかし」との
意味になります。そうすると、

「 HN さんはしかしながら HN さんの at である。」

の様になりそうです。

ところが at は前の単語の一部かもしれません。
そうすると、

「 at HN した HN さんの at 。」

の様になりそうです。

さて、数か月後、at は dat とも考えられる事を思いつきました。
dat は古語で「与える」という意味がありそうです。そうするとこの部分は、

「 HN さんは HN さんに at を与えた。」

となります。語順は SV00 式になります。
この意味では挿絵の状況とよく合います。手に持っているのが at か。



挿絵の人物は統一した「帽子」で表現されていると考えますと、41 ページ右に記載された左の人物と、上記に記載された右の人物は同一と考えられます。そうすると、上記挿絵は、**JIN**さんが主で、下図では **JIN**さんがお客であることが解ります。この行の解読は、dat の方が正解のようです。

